

総合計画PDCAシート《令和元年度》

施策コード	基本目標	6	【協働・行財政】市民と行政がつながり、共につくるまち
6	6	6	6 コミュニティの強化

目指すべきまちの姿 様々な地域コミュニティ組織が活躍し、住民互助への意識が高まり、誰もが地域の活動に積極的に参加しています。

●主要施策と概要	この1年間の成果及び反省点	担当課	評価
<p>(1) コミュニティ意識の啓発と人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のコミュニティ活動の情報提供や、情報交換会の開催などを通じて、リーダーの育成や新たな人材の発掘を支援します。 広報誌・パンフレットなどを活用して、コミュニティ意識・自治意識の高揚を図るとともに、市民の地域活動への自主的な参加や相互協力を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 区長会で弥富市自治会・町内会ガイドブックを配布し、自治会・町内会について理解していただき、市民参加による協働のまちづくりに対する啓発活動を推進しました。 しかしながら、地域コミュニティのリーダーの育成や新しい人材の発掘については、取組ができていません。 	市民協働課	B
<p>(2) コミュニティ活動の活性化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 各コミュニティ組織及び活動への支援を継続し、活動の活発化を促進します。 地域づくり補助金制度の周知及び有効活用により、コミュニティ推進協議会や自治会、町内会等が実施する自主的・主体的な活動を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 人的支援として、各コミュニティ推進協議会の事務局担当制度により市職員2名をそれぞれ配置し、また、財政支援として、各種行事に対する補助金を交付し、コミュニティ組織の活性化を図りました。 また、地域づくり補助金制度の説明会及び活用団体における交流会を行い、活発な意見交換が行われ自主的・主体的な活動を支援することができました。 数多くの地域づくり団体が補助金を活用して活動していますが、各団体が自立できるように促すような仕組みづくりが必要です。 	市民協働課	B

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (2017年度)	目指す方向性	中間値 (2022年度)
コミュニティ活動の支援	%	15.5	↗	

●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値				目標値 (目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度
(2) 地域づくり補助金活用団体数	団体	55	46				60	65

事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	必要度	達成度	施策貢献度	事業実施状況に関する所見
	該当なし					

施策の今後の方針 多様化する市民ニーズなどに対応するための住民サービスには、行政だけでは限りがあり地域住民自らが主体的に課題に取り組んでいくまちづくりがもたられている。しかし、現状は地縁的なつながりは徐々に希薄化となり、地域コミュニティの機能も失われつつあります。スポーツ、趣味、特定の共通活動を通じながらコミュニティ組織を充実させていく必要がある。本年度より、コミュニティ事業を市主催と一部したことにより補助申請数が減少することが予想されますが、今後はコミュニティ推進協議会が自主的に活動していくよう協議会の意見を踏まえながら、実施事業の見直しを図っていく。また、天候不順のため事業が中止となったり、補助団体が自立したなど、申請団体が昨年度は減少しましたが、今後も補助なしで活動できる団体の育成を目指すとともに、新たな住民組織の立ち上げを図ってきたい。